



『青い春』

タイムテーブル

11/8 fri			18:30 『ハーブ&ドロシー』
11/9 sat	10:30 『宵待草』	15:30 『BOX 袴田事件 命とは』	
11/10 sun	10:30 『どこまでもいこう』	13:30 『こまどり姉妹がやって来る』	15:30 『蜂蜜』
		18:00 『青い春』	
	13:30 『少年と自転車』	18:00 『友だちのうちはどこ?』	

チケット

1回券 前売 1000円 当日 1200円  
 3回券 2500円 ※前売のみの取扱  
 ◎チケット取扱店  
 弘前中三、紀伊國屋書店 弘前店、弘前大学生協  
 まちなか情報センター、弘前市立百石町展示館  
 ◎チケット予約 npo harappa  
 電話 0172-31-0195 E-mail post@harappa-h.org

会場/駐車場

弘前中三 8F・スペースアストロ (青森県弘前市土手町 49-1)  
 お車でお越しの方、中三指定駐車場(中三御徒町駐車場、ナカサンパーキング一般有料駐車場)をご利用ください。無料サービスとなります。  
 上映会場受付にて駐車券をご提示ください。

ゲスト/塩田明彦 監督



1961年、京都府生まれ。99年、『月光の囁き』『どこまでもいこう』の二作で国内外の注目を集め、仏・ナント三大映画祭審査員特別賞始め、多くの映画賞を受賞する。続く『害虫』(02)では第58回ヴェネチア映画祭「現代映画部門」正式出品、仏・ナント三大映画祭にて審査員特別賞、最優秀主演女優賞(宮崎あおい)を受賞。また同年、演出したドラマ『あした吹く風』では小学生の女の子を主人公に昭和の家族を暖かく描写してみせATP賞の優秀作品賞、総務大臣賞をダブル受賞する。03年公開の『黄泉がえり』では草野剛、竹内結子を主演に迎え、興行収入30億円を超える大ヒットを記録した。05年、オウム真理教を題材にした『カナリア』で、英レインダンス映画祭グランプリ受賞。07年、手塚治虫原作の『どろろ』で再び興行収入35億円を超える大ヒットを記録する。最新作は北川景子・錦戸亮主演の『抱きしめたい』(14年2月全国公開予定)。現在、アテネ・フランスでの講義録の書籍化に向けて、作業を進めている。

# 弘前んご祭り映画祭2013

今年も粒ぞろい!

8日(金)

18:30 ハーブ&ドロシー  
ふたりからの贈りもの

9日(土)

10:30 宵待草  
13:30 こまどり姉妹がやって来る  
ヤァ!ヤァ!ヤァ!

15:30 BOX 袴田事件 命とは  
18:00 青い春

10日(日)

10:30 どこまでもいこう  
13:30 少年と自転車  
15:30 蜂蜜  
18:00 友だちのうちはどこ?

11.8fri-10sun  
弘前中三8F・スペースアストロ



チケット

1回券 前売 1000円 当日 1200円  
 3回券 前売 2500円 ※前売のみ

◎チケット取扱店  
 弘前中三、紀伊國屋書店 弘前店、弘前大学生協  
 まちなか情報センター、弘前市立百石町展示館

ゲスト

塩田明彦氏(『どこまでもいこう』監督)

主催 まちなかりんごだらけ実行委員会、npo harappa  
 問合せ npo harappa 電話 0172-31-0195 e-mail post@harappa-h.org





「少年と自転車」

# おいしい映画 今年も粒ぞろい

今年もやります、弘前りんご映画祭。「ハープ&ドロシー ふたりからの贈りもの」は、去年のオープニングに駆けつけた人は必見。あつましい夫妻、ハープとドロシーが、自分たちのアートコレクションをアメリカ中の美術館に贈る旅に出るのですから。

そして二日目。弘前に、涙と感動の「こまどり姉妹がやって来る」ヤァ！かと思えば、弘前出身の名バイプレーヤー新井浩文の代表作二本が勢揃い。そして「宵待草」。70年代の弘前の街並みが映画では大正時代に生まれ変わり、それを40年後の弘前で見ようという何とも倒錯的な体験をお楽しみ下さい。

最終日。男の子の目を通して世界を見つめる日。「どこまでもいこう」は、5年生の新学期をむかえたアキラと光一君。「蜂蜜」は、トルコの山奥に住む6才のユスフ君。「自転車と少年」は、フランスの養護施設でもうすぐ12才になるシリル君。「友だちのうちはどこ？」は、イランの小学生アハマッド君。皆さん、ぜひ、この5人の男の子たちにエールを送って下さい。

11月9日(土) 15:30

## BOX 袴田事件 命とは

監督：高橋伴明

(2010/35mm/ヴィスタ/117分)



死刑判決が確定している実在の事件を題材に、裁判員制度が導入された現在、人を裁くことの重みと難しさを改めて見つめた社会派ドラマ。1966年に起きた強盗殺人放火事件(いわゆる袴田事件)で一番の死刑判決に関わり、その後「無罪と確信していた」と告白した元裁判官・熊本典道を主人公に、警察の捜査への疑問と裁判官の苦悩を描き出す。なお、この事件は現在も再審請求が続いている。無罪を主張する元ボクサー役を弘前市出身の新井浩文が熟演する。

11月9日(土) 18:00

## 青い春

監督：富田利晃

(2002/35mm/ヴィスタ/83分)



男子校の朝日高等学校・屋上で、行われた伝統の「ベランダ・ゲーム」。新記録を出して勝利した九條(松田龍平)は、新しい番長として学校を仕切ることになる。風貌からは想像できないほどの強さで、下級生らを圧倒する九条。だが傍らで、腐れ縁の青木はふつふつと嫉妬心をたぎらせていた——新井浩文演じる青木の容貌が、痛々しくも心に残る怪物。THEE MICHELLE GUN ELEPHANTの名曲が、彼らの世界を彩る。

11月10日(日) 10:30

## どこまでもいこう

監督：塩田明彦

(1999年/35mm/ヴィスタ/75分)



© コロネーション・TBS・PUG POINT

団地の小学校に通うアキラと光一は、5年生になって別々のクラスになった。新しいクラスメイトが遊び仲間に加わる。転校生がアキラと光一を遠ざけ、そして再び近づける。少年たちは、ピストル型の発射機でロケット弾火花を川原で飛ばし、2B弾を搭載した紙飛行機を団地の窓から飛ばす。危ないことが大好きな少年たちにとっては、すべてが「史上最大の作戦」だが、一輪車の少女たちは、「男子ってさ、バカだよな」とささやく。母子家庭の野村君が描いた絵が、映画に余韻をもたらす。

塩田明彦 監督舞台挨拶あり!

11月8日(金) 18:30

## ハープ&ドロシー ふたりからの贈りもの

監督：佐々木芽生

(2013/Blu-ray/HD/87分)



© 2013 Four Lion Media, Inc. All Rights Reserved.

アート好きのごく平凡な郵便局員とその妻が、少ない稼ぎの中でコツコツと集めていたら、いつしか世界屈指の現代アート・コレクターになっていた、という奇跡の人生を描いた佐々木芽生監督の「アート・ドキュメンタリー『ハープ&ドロシーアートの森の小さな巨人』」の続編。二人が収集した作品は国立美術館でも收藏しきれなくなり、全米50州の美術館にコレクションを寄贈する旅に出る。

シネマトーク

「アートをコレクションをするということ」

スピーカー 飯田高馨氏(青森県立美術館美術監修)

11月10日(日) 13:30

## 少年と自転車

監督：ジャン＝ピエール  
&リュック・ダルデンヌ

(2011/35mm/ヴィスタ/87分)



© Christine FLENUX

監督のダルデンヌ兄弟は、日本で聞いた「迎えに来ない親を施設で待ち続ける子ども」の話をもとにして、この映画を作った。施設に預けられたシリル少年の願いは父親と一緒に暮らすことだ。美容師のサマンサは、父親が換金したシリルの自転車を買戻し、週末だけの里親になる。二人が尋ねた息子をサマンサに押し付ける。シリルは悲嘆に暮れ、自棄になり、悪事に引き込まれる。果たして、シリルは不幸な日々から抜け出せるのだろうか。

11月9日(土) 10:30

## 宵待草

監督：神代辰巳

(1974/35mm/シネスコ/96分)



退廃と浪漫の大正時代。政治家令嬢誘拐計画に失敗したアナキスト集団・ダムダム団のテロリストとブルジョワ息子、そして誘拐された令嬢の逃避行が始まる。弘前市紺屋町の消防屯所、吉野町のレントガ倉庫の黒塚、弘前公園、長勝寺山門、弘南電鉄大鰐線のツートンカラーの旧型車両など、私たちはスクリーンに映し出される40年前の弘前の風景に懐かしさを覚えると同時に、映画を「活動写真」と呼んだ時代のどこにもない街の風景を形作っている奇跡に驚く。

11月9日(土) 13:30

## こまどり姉妹がやって来る ヤァ!ヤァ!ヤァ!

監督：片岡英子

(2009/35mm/ヴィスタ/71分)



© ALTAMIRA PICTURES, INC.

70歳を過ぎた現在も歌手生活を続け全国を飛び回る「こまどり姉妹」の「決定版」ドキュメンタリー。貧困から夜逃げした一家を支えるため、双子の姉妹は唄を歌い日銭を稼ぐ。そして東京、山谷で「流し」から始めた彼女たちはやがてスターへの階段を上り始める。新曲のヒット、紅白歌合戦や映画への出演。しかし姉妹に次々と試練が襲いかかる。ステージでファンに刺され、病魔に冒され…涙と、ほのぼのとした笑いの、エンターテインメント。懐かしい唄と映像満載。

11月10日(日) 15:30

## 蜂蜜

監督：セミフ・カプランオール

(2010/35mm/ヴィスタ/103分)



© 2010 Kaplan Film Production & Himmelfarb GmbH + Co KG

ユスフは夢を見る。その夢を、大好きな養蜂家の父に教えようとする。「夢を聴かされてはいけないよ。耳もどてそっと話してごらん。」その父が蜂蜜をとり森の奥深くへと行ったきり、何日も帰ってこない。心配を心にしまい込んだらなのか、ユスフは言葉を失う。そして、一人、父を探しに森へと向かう。木々のささやき、鳥のさえずり、蜂の羽音のする森へ…。第60回ベルリン国際映画祭で金熊賞に輝いた、甘く、せつなく、懐かしさに満ちあふれた作品。

11月10日(日) 18:00

## 友だちのうちはどこ?

監督：アッバス・キアロスタミ

(1987/35mm/ヴィスタ/85分)



© Institute for the Intellectual Development of Children and Young Adults

イラン北部コケール村の小学校が舞台。「宿題をちゃんとやらないと退学だ」と先生は叱責するが、主人公の少年アハマッドは、間違えて友だちの宿題を家に持ち帰ってしまう。友だちの家を探してアハマッドは彼の住む遠い隣村と自分の村を奔走するが、友だちにはなかなか会えない…子どもたちの演技(とそれを可能にした演出)が話題となりさまざまな映画賞を獲得したキアロスタミ監督の出世作。日本では1993年公開。「なみおか映画祭」でも上映され、絶賛された。